

意見広告



聞いてください
畜産物の窮状を。
毎日の暮らしに欠かせない牛乳や肉類、卵。
県産・国産の畜産物がいま、
かつてないほどのきびしい
状況に追い込まれています。

飼料代が経営を
圧迫しています。

家畜たちのエサの原料である
とうもろこしの価格が上昇し、
1年前と比較して飼料価格が
大幅にアップしています。



生産者の努力も
限界にきています。

生産コスト削減のために、できるだけ輸入飼料に
頼らない努力を続けています。
でも、最近では努力だけでは
どうにもならなくなっています。

このままだと
畜産業がピンチです。

飼料価格の高騰で廃業する
畜産農家も増えています。
安全・安心な県産・国産の
畜産物の安定供給のために、
ぜひ応援団になってください。

安全・安心な「県産・国産の畜産物」を守るため、
適正価格での消費拡大にご理解をお願いします。

良質な肉やミルクを生産するために欠かせない飼料用「とうもろこし」の価格が、アメリカなどのバイ
オエタノールへの転換需要の影響で平成18年以降急激に上昇しています。日本の飼料用とうもろこしの
97%は、アメリカからの輸入です。さらに、原油高にともなう資材価格や燃料価格の高騰もあり、生産コ
ストの上昇は生産者の努力だけでは吸収できないところまできています。いままでも生産者は血のにじ
むようなコスト削減の努力をしてきました。でも、このままだと廃業の増加などによって畜産物の安定
的な供給ができなくなる危険性もあります。このような生産者の現状を消費者の皆様にご理解いた
だくことが、畜産農家への応援になります。安全・安心な「県産・国産」を「一緒に守り育てていってください。

本年も県産・国産の畜産物をよろしく願っています。

JA長野県農政対策会議



JA長野県グループ

食と農と環境を育むネットワーク

お問い合わせ先／JA長野中央会 地域農政部 農政対策課／〒380-0826 長野市北石堂町1177-3 TEL026-236-2030 E-mail:agri@nn-ja.or.jp

